飯塚市立小中一貫校飯塚鎮西校　中学部通信

令和６年６月５日（木）
第　５　号

飯塚市立小中一貫校飯塚鎮西校
中学部・校長　秦　俊明

「総合的な学習の時間」の可能性

飯塚鎮西中学校では、総合的な学習の時間を「グローバルタイム」と呼んでいます。（略して GT）これは、「社会や物事を広い視野から考えてほしい」という思いや願いからです。

「自らの生き方を考えることができるようにする」総合的な学習の時間は、「自分さがし」の時間です。それは、これまでの自己を超えさせることです。そのため、たくさんの「価値ある体験」を積ませ、主体的に、しかも自律的に課題を探究させることと考えます。

９年生が行う、単元名「未来のわたし、地域を探ろう。～企業からミッションを受けて～」企業コラボプロジェクトは、上記のような思いや願いから本年度実施する活動です。飯塚市経済部産学振興課や福岡同友会飯塚支部と連携して行います。筑豊地区の企業が抱える課題を解決することを通して、自己の生き方や身近な社会のかかわり方について考えます。学習の流れは、企業の方にゲストティーチャーとして本校に来校（５月３０日）してもらい、企業が抱える課題を提示してもらいます。そして、企業訪問（６月３０日）を行い、職場の人から話をきいたり企業を見学したりし課題意識を高めます。課題追究を行い、企業の方や友達の課題追究の様子やアドバイスを聞き、参考にすることで、応え（こたえ）を練り上げ深めさせる中間発表会（９月４日）、企業を招いて最終報告会（９月２５日）、文化祭での発表（１０月１０日）などを行います。

この活動は「STEAM 教育」を意識して行っています。「STEAM 教育」とは、Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学・ものづくり）、Art（芸術・リベラルアーツ）、Mathematics（数学）等、各教科での学習を実社会での課題解決に生かしていく教科横断的かつ問題解決的な学習です。飯塚市が推進しています。例えば

① 生徒が設定する課題に数値の要素を取り入れ、論理的な根拠を意識させる。
（例）「〇人が～となった」「～な人を〇%減らす」など　Science や Mathematics
② 数値を基にデータやグラフを活用して考えさせる。　Science や Mathematics
③ 学習を通してＩＣＴ機器を活用し、相手を意識して、みやすくわかりやすく表現させる。
「グラフの使用」「プレゼンソフト使用」　Art
④ 発表内容は、聞き手の意識を変え、行動変容を促すものとする。　などです。

７年生１学期の総合的な学習の時間は、「自分の個性や適性」について考えたり、「学ぶことや働くこと」を考えたりする活動を行います。

８年生１学期の総合的な学習の時間は、単元名「様々な高校を調べよう」を行います。筑豊地区の高等学校から出前授業をしてもらう予定です。

９年生公立高校説明会　５月２３日（金）ランチルーム　保護者４０名参加

嘉穂高校、嘉穂東高校、稲築志耕館高校、嘉穂総合高校、西田川高校５校の先生方に来校してもらい行いました。学校にはそれぞれのよさがあります。自分の将来の夢のために、個性の伸長のために、自分にあった高校選択の参考にしてもらいたいです。６月１２日（木）には進路説明会を予定しています。

鎮西地区まちづくり協議会からの表彰

５月２２日（木）令和７年度まちづくり協議会総会の中で本校生徒３名が表彰されました。

下見俊介　野球の NPB12 球団ジュニアトーナメント KONAMICUP2024 第 20 回記念大会にて優勝

西田鈴　ゴルフの日本ジュニアゴルフ協会強化選手に選抜、他様々な大会において上位入賞

宮崎悠　全国小学生バレーボールの全国大会にて優勝

学力向上のための授業づくり

６月４日、森光一成教諭が７年１組で全職員に対して、理科「動物の分類（動物分類ゲーム）」の提案授業を行いました。事後研修会では、全職員で授業のよさや課題を出し合い、活発に交流しました。また、福岡教育大学教職大学院坂井清隆教授からの授業の指導・助言や学力向上についての講演もありました。他校の先生も参加しました。